

新しいサーバーマシンへの、データ・設定の移行の流れ

サーバークライアント（共同編集なし）用

旧サーバーマシンでの作業

- ①データ・設定のバックアップ
- ②ライセンスの解除



新サーバーマシンでの作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ ONE のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定
- ⑧ サーバーの参照先変更

ONE のインストール方法を確認します

まず、ご利用中のTREND-ONE、Mercury-ONEの「インストール方法」を確認します。

確認方法は以下の2種類です。

- 1.「現場管理」で確認する。
- 2.「現場管理以外」で確認する。

インストール方法によって、サーバーマシン入れ替えの手順が変わります。

※ここでは、TREND-ONEの画面で解説します。

インストール方法を確認する

■ 現場管理で確認する

- 1 TREND-ONE のプログラムがインストールされているパソコンで「現場管理」を起動して、ウィンドウのタイトルバーを確認します。



「現場管理（共同編集あり）」と表示されている場合は



弊社WEBサイト「[お客様サポート](#)」の「別のパソコンへ入れ替えるには？」の「サーバーマシンを入れ替える方法（共同編集あり）」をご確認ください。

「現場管理（共同編集なし）」と表示されている場合は



55ページからの手順で、新しいサーバーマシンへの移行をおこないます。

55ページへ

■ 現場管理以外で確認する

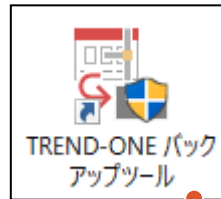
何らかのトラブルで「現場管理」を起動できなくなった場合などは、以下のいずれかの方法で確認してください。
※ここでは、TREND-ONEの画面で解説します。

- 共同編集あり / 共同編集なし

- ① TREND-ONE サーバーをインストールしたサーバーマシンのデスクトップ上に
 - ・TREND-ONE バックアップツール
 - ・TREND-ONE サーバー現場移行ツールの2種類があるか、ないか

ある場合→共同編集あり

ない場合→共同編集なし



Mercury-ONEの場合は、

- ・Mercury-ONE バックアップツール
 - ・Mercury-ONE サーバー現場移行ツール
- がデスクトップ上にあります。

- ② スタートメニューに
 - [FukuiComputerApplication] —
 - [TREND-ONE Ver.○ ユーザーマネージャー]があるか、ないか

ある場合→共同編集あり

ない場合→共同編集なし



Mercury-ONEの場合は

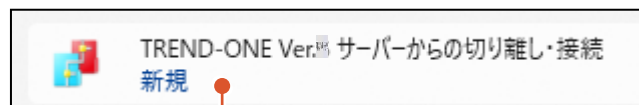
「Mercury-ONE Ver.○ ユーザーマネージャー」です。

- 共同編集なし / スタンドアロン

- ① スタートメニューに
 - [FukuiComputerApplication] —
 - [TREND-ONE Ver.○サーバーからの切り離し・接続]があるか、ないか

ある場合→共同編集なし

ない場合→スタンドアロン

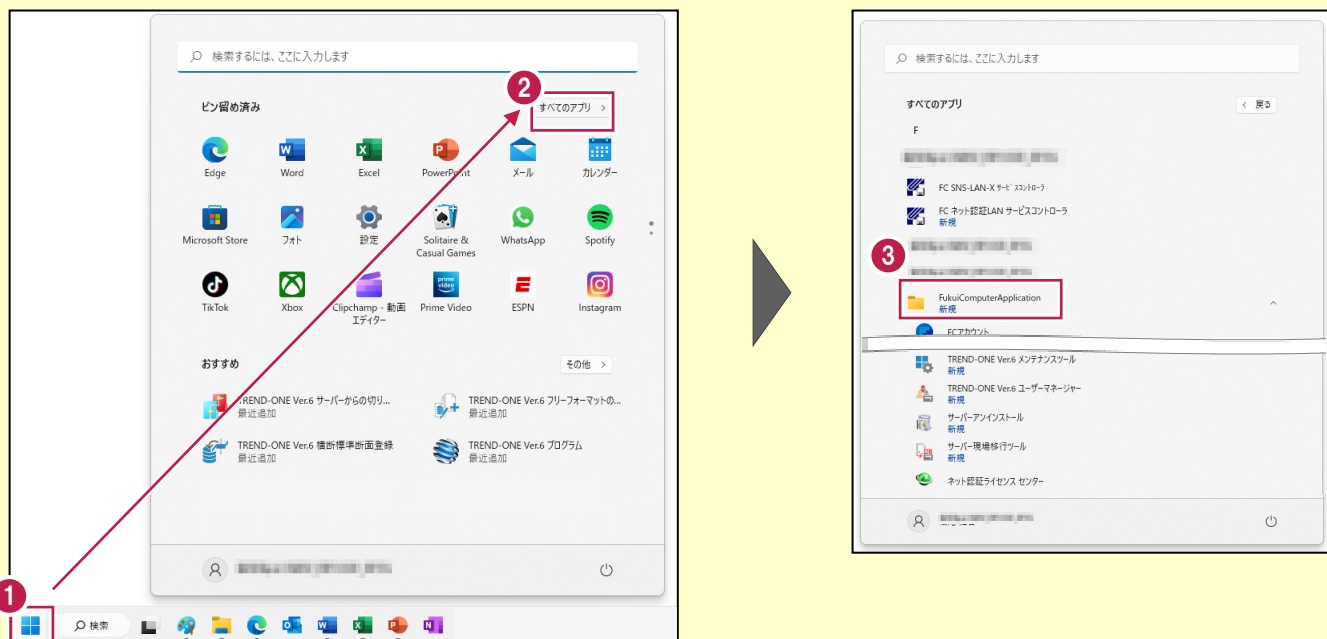


Mercury-ONEの場合は

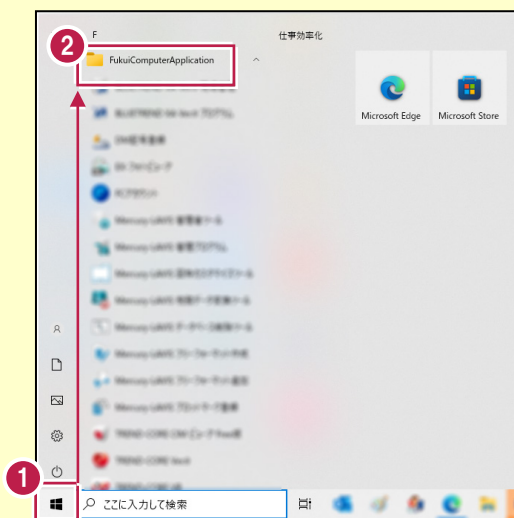
「Mercury-ONE Ver.○サーバーからの切り離し・接続」です。

【補足】 スタートメニューから [FukuiComputerApplication] を確認する手順

- Windows11の場合



- Windows10の場合



1 データ・設定のバックアップ

まず「現場データ」と「設定」をバックアップします。
※ここでは、TREND-ONEで説明します。

1-1 現場データをバックアップする

現場データをバックアップする手順です。 ※現場管理以外のプログラムは終了しておいてください。

「現場データ」のバックアップは、いずれか1台のパソコンでおこないます。

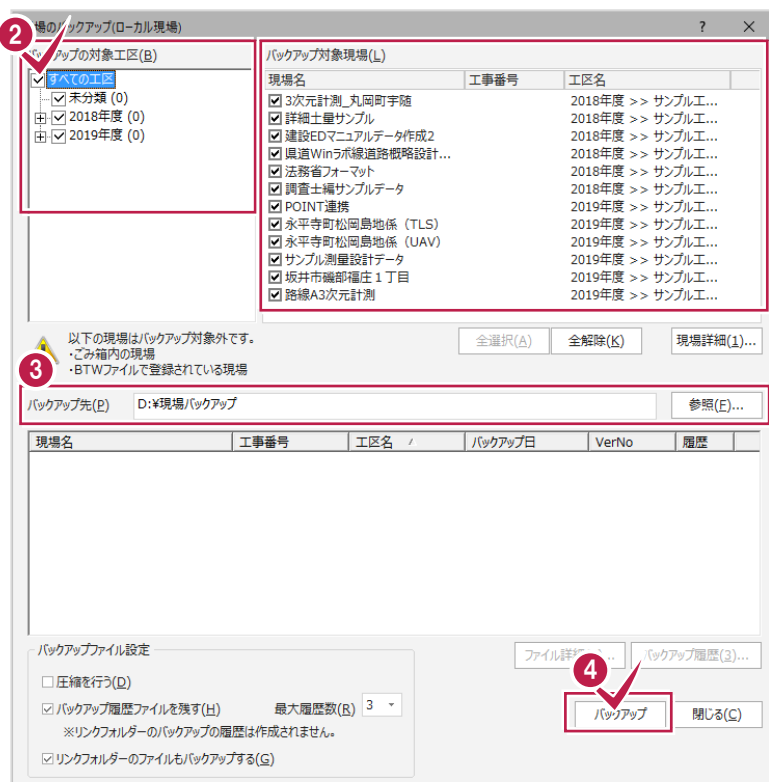
- ◆サーバーマシンでもTREND-ONEのプログラムを使用している場合は
→サーバーマシンで操作をおこなってください。
 - ◆クライアントマシンのみでTREND-ONEのプログラムを使用している場合
→いずれか1台のクライアントマシンで操作をおこなってください。すべてのクライアントマシンで行う必要はありません。
- ※他ユーザーが現場を起動していないことを確認してください。

- ① 現場管理を起動して、[書込] タブ
[バックアップ] グループ - [現場] をクリック
します。



- ② 「すべての工区」のチェックを「オン」にします。

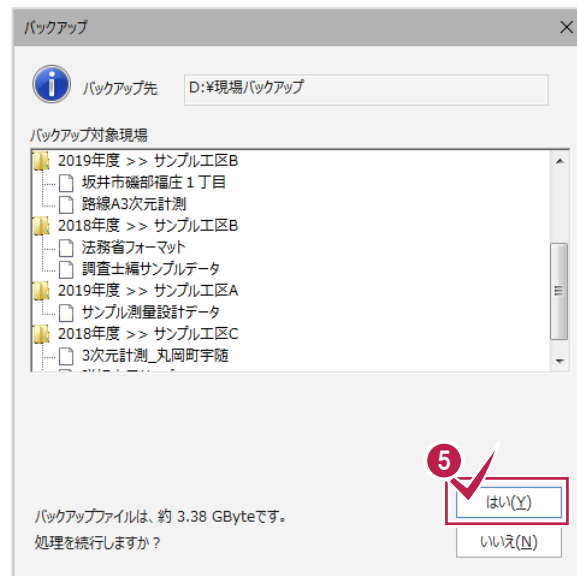
[バックアップ対象工区] のすべての工区と、
[バックアップ対象現場] のすべての現場の
チェックが「オン」になったことを確認します。



- ③ バックアップ先のフォルダーを指定します。

- ④ [バックアップ] をクリックします。

- 5 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。

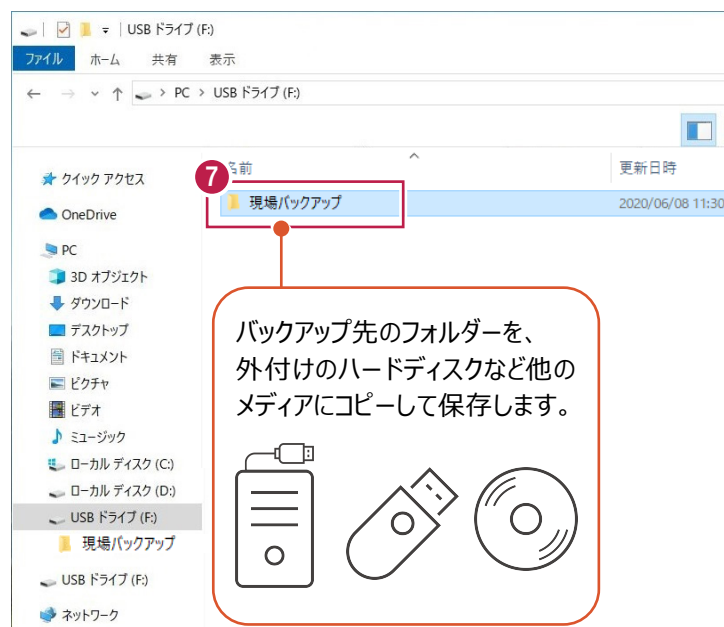


- 6 バックアップが終了したら、[OK] をクリックします。



- 7 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「現場データのバックアップ」は完了です。

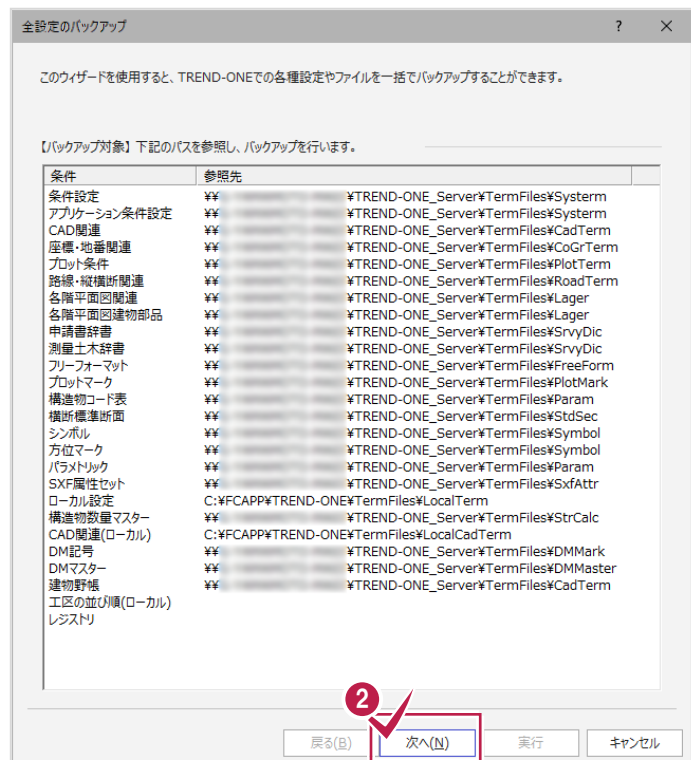


1-2 全設定をバックアップする

- 1 現場管理の [書込] タブ - [バックアップ] グループ - [全設定] をクリックします。



- 2 バックアップされる条件を確認して [次へ] をクリックします。

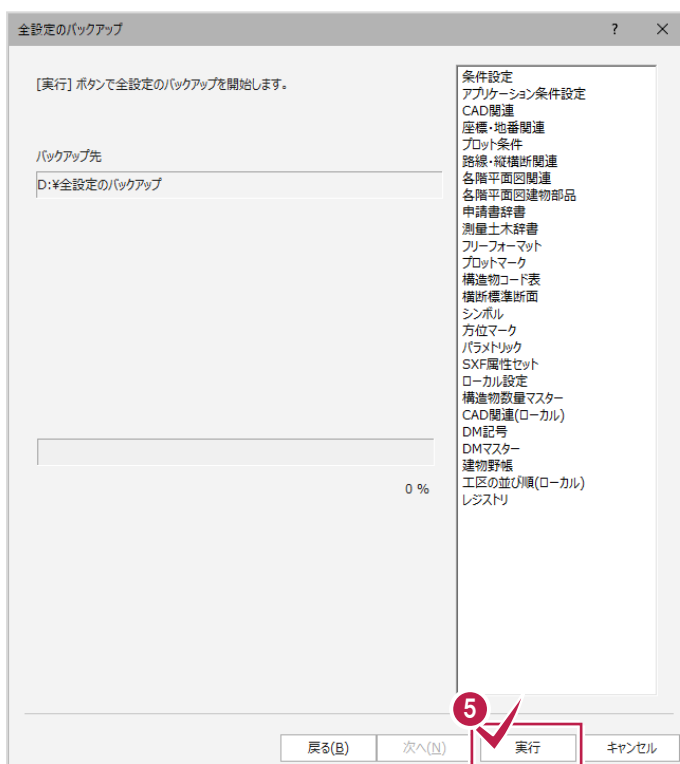


3 バックアップ先のフォルダーを指定します。

4 [次へ] をクリックします。



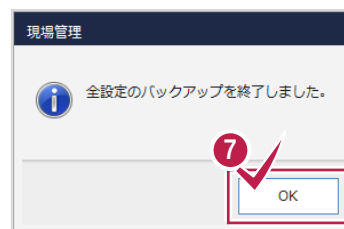
5 [実行] をクリックします。



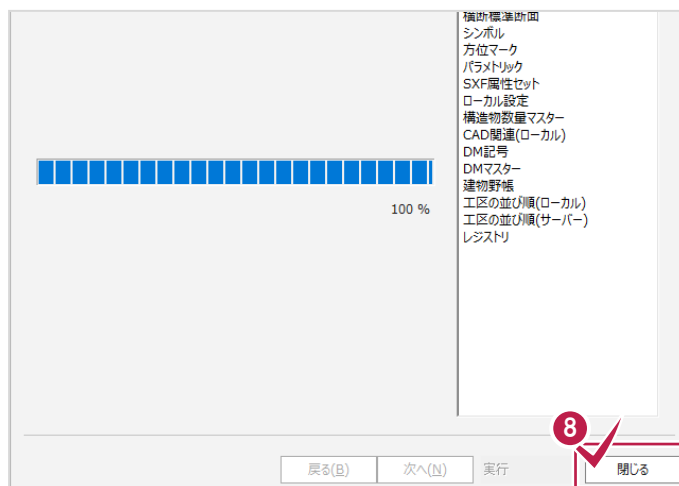
- 6 [はい] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 7 バックアップが終了したら [OK] をクリックします。

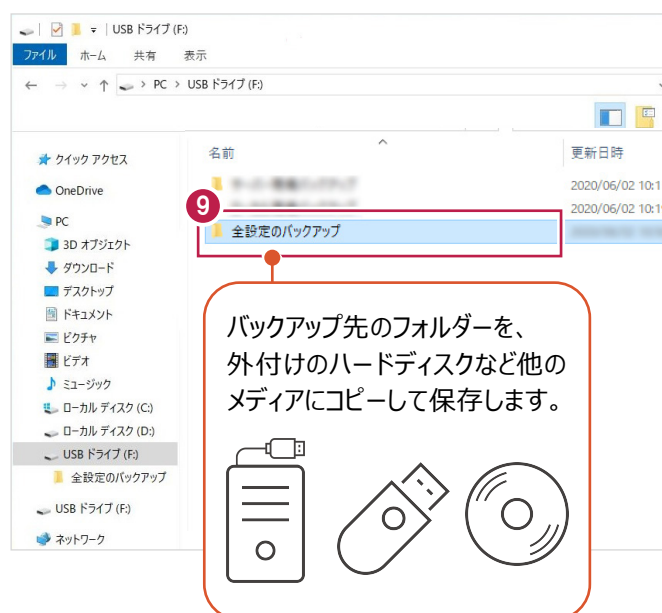


- 8 [閉じる] をクリックします。



- 9 バックアップ先のフォルダーを、外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーします。

以上で、「全設定のバックアップ」は完了です。

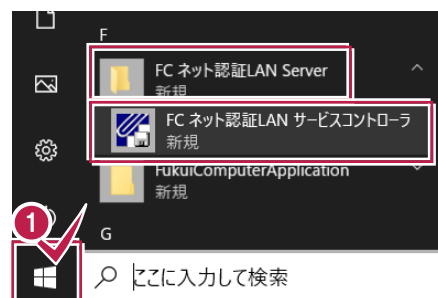


2 ライセンスの解除

旧サーバーマシンで使用しているライセンスを解除します。
ライセンスを解除しないと、新サーバーマシンでライセンスを認証することができません。

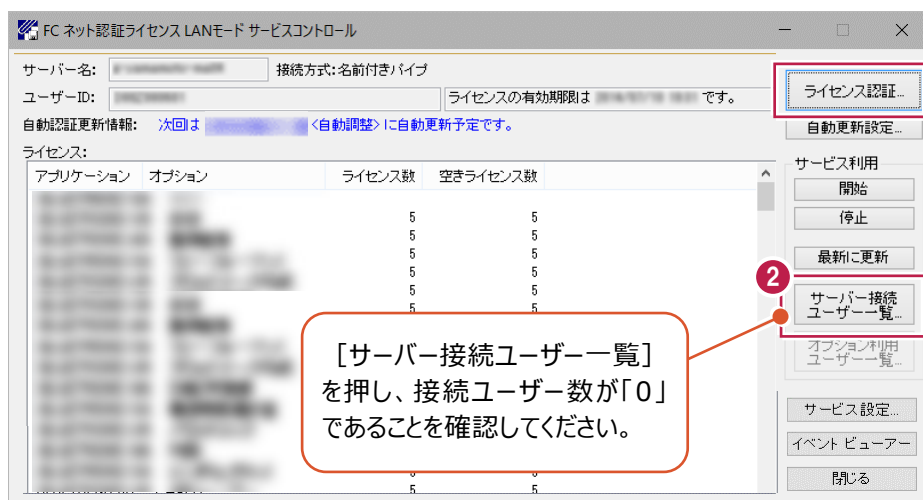
2-1 ネット認証ライセンス（LAN）の解除（サーバー）

① スタートメニューから、[FC ネット認証 LANServer] - [FC ネット認証 LAN サービスコントローラ] を起動します。



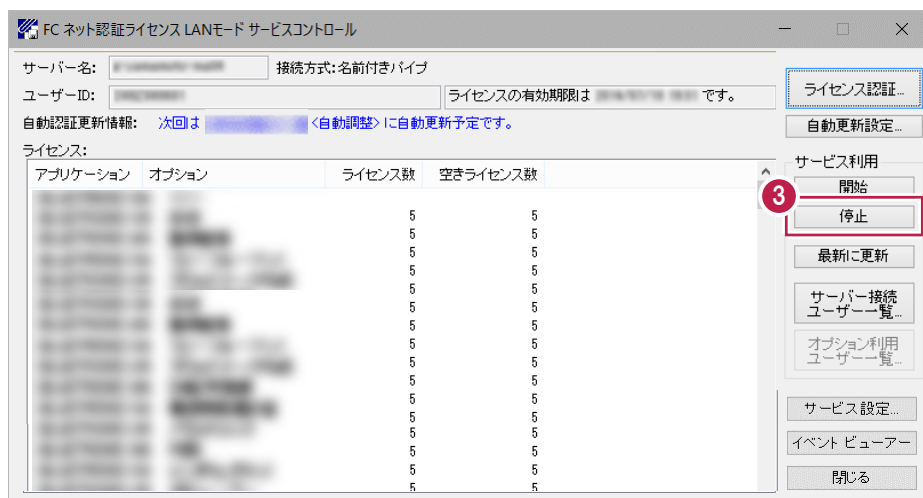
② [ネット認証ライセンス LAN モード サービスコントロール] 画面が表示されます。

[サーバー接続ユーザー一覧] を押し、接続ユーザー数が「0」であることを確認後 [ライセンス認証] を押します。
[設定] 画面が表示されますので [解除] を押します。



③ [サービス利用] - [停止] を押します。

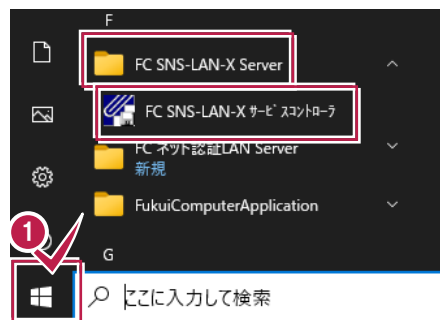
ライセンスの解除完了後は、旧サーバーマシンの「FC ネット認証 LAN Server」をアンインストールしておくことをお勧めします。



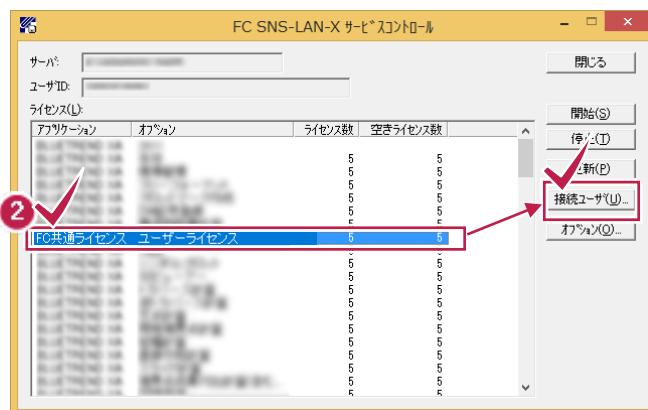
以上でネット認証ライセンス（LAN）の解除は完了です。

2-2 USBプロテクト（SNS-LAN-X）の解除（サーバー）

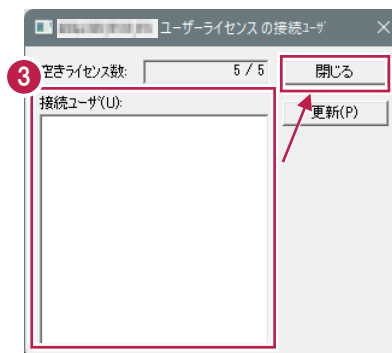
- 1 スタートメニューから、[FC SNS-LAN-X Server] - [FC SNS-LAN-X サービスコントローラ] を起動します。



- 2 [SNS-LAN-X サービスコントロール] 画面が表示されます。
[オプション] 欄から [ユーザーライセンス] を選択して、
[接続ユーザ] をクリックします。

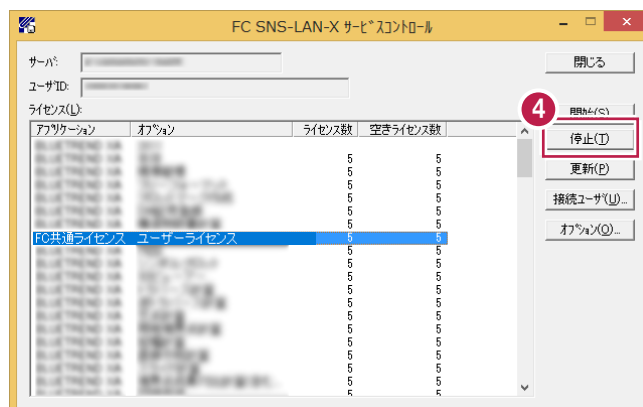


- 3 ユーザーライセンスの接続ユーザが空欄になっていることを確認し、[閉じる] を押します。



- 4 [停止] を押します。

ライセンスの解除完了後は、旧サーバーマシンの「FC SNS-LAN-X Server」をアンインストールしておくことをお勧めします。

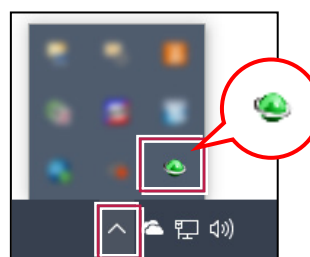
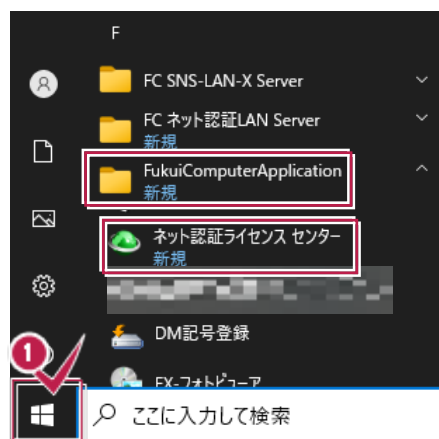


以上で USB プロテクト（SNS-LAN-X）の解除は完了です。

2-3 ネット認証ライセンス（占有）の解除

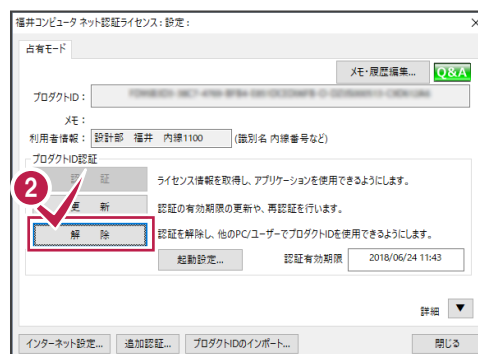
- 1 スタートメニューから、[FukuiComputerApplication] - [ネット認証ライセンスセンター] を起動します。

もしくは、画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、起動します。



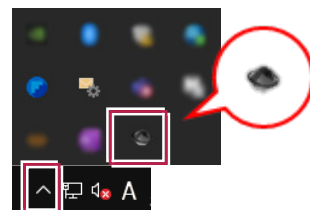
- 2 ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
[解除] を押します。

以上でネット認証ライセンス（占有）の解除は完了です。

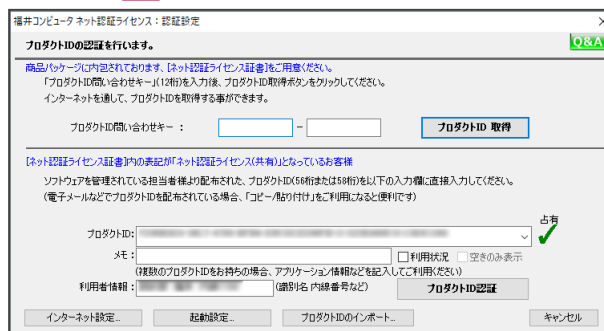


補足

ネット認証ライセンスセンターのアイコンが右図のように黒くなっている場合は、ライセンスは「解除」済みです。



また、ネット認証ライセンスセンターを起動したときに右図のように「認証設定」の画面が表示された場合は、ライセンスは「解除」済みです。



3

FC アカウントのインストール

新サーバーマシンに、TREND-ONE、Mercury-ONEの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

※新サーバーマシンに、FCアカウントのインストールができない場合は、代わりにクライアントマシンにインストールしてください。

3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。

検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

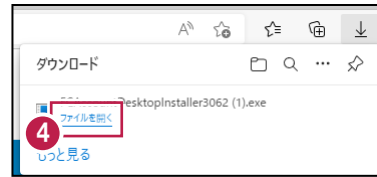
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



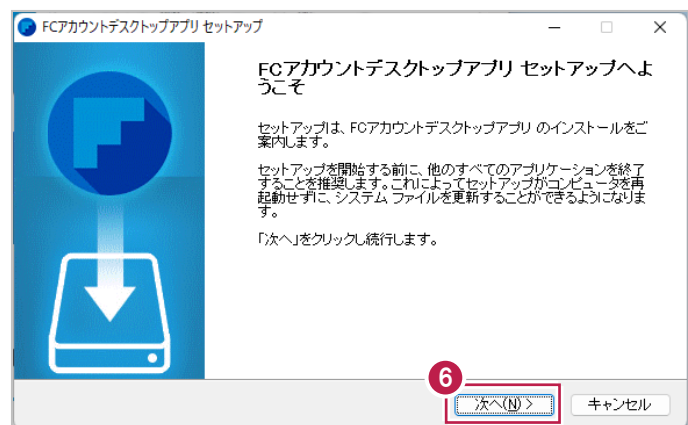
- ④ ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- ⑤ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

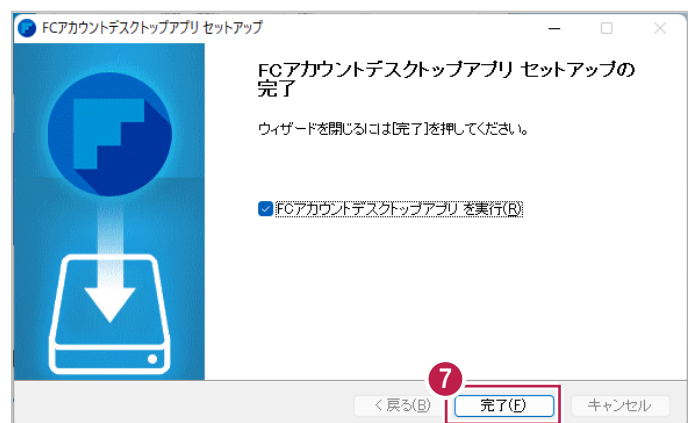


- ⑥ FC アカウントのセットアップが開始されます。
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- ⑦ インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FCアカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

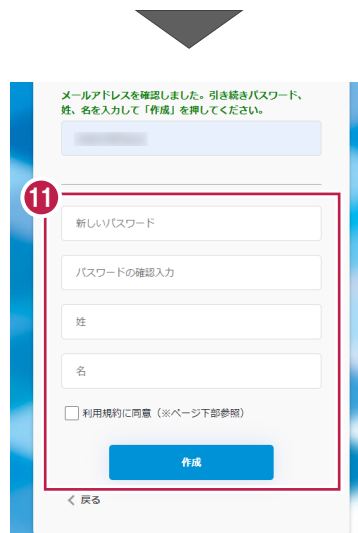
「次へ」をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



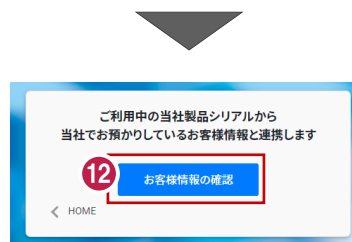
10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



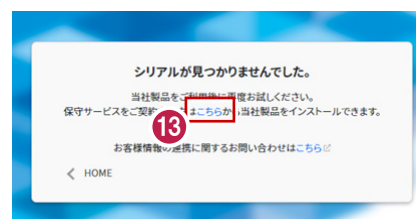
- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェックを付け「作成」を押します。



- 12 「お客様情報の確認」を押します。



- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービス中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。



- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して「製品を表示する」を押します。



※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。

補足 「ユーザーコード」と「製品シリアル」の確認方法

「ユーザーコード」と「製品シリアル」は、以下の部分に記載されています。ご確認ください。
もしくは弊社WEBサイト「お客様サポート」の「[プロテクトタイプの確認方法](#)」をご確認ください。

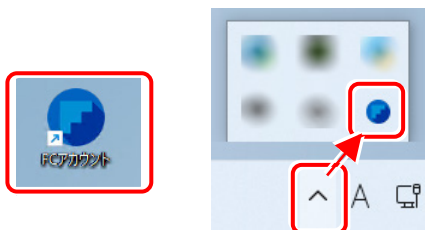


4 ONE のインストール

新サーバーマシンにインストールしたFCアカウントを利用して、TREND-ONE、Mercury-ONEを新規インストールする手順を解説します。

※ここでは、TREND-ONEで説明します。

1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



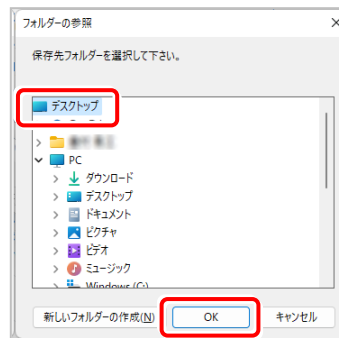
「インストール・バージョンアップ」のページにあるTREND-ONEの「インストール」ボタンを押します。



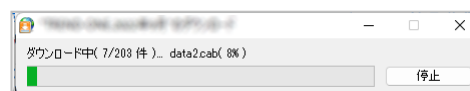
メニューが表示されますので、「【サーバー運用はこちら】全体ファイルを保存」をクリックします。

- ▶ はじめにお読みください
- ▶ 【スタンドアロン運用限定】インターネットから直接インストール
- ▶ 【サーバー運用はこちら】全体ファイルを保存 (約3.6GB)
- ▶ TREND-ONE コンバーター(100MB)
- ▶ TeamGEO2ビューアー(200MB)
- ▶ 各種ツール [テンプレート・フォーマットなど] (20MB)
- ▶ オンライン教材のご案内

2. ダウンロードする全体ファイルの保存先を選択して、[OK] を押します。



3. ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止するには、上記画面で [停止] をクリックしてダウンロードを一時停止してから、[×] ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

4. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます。

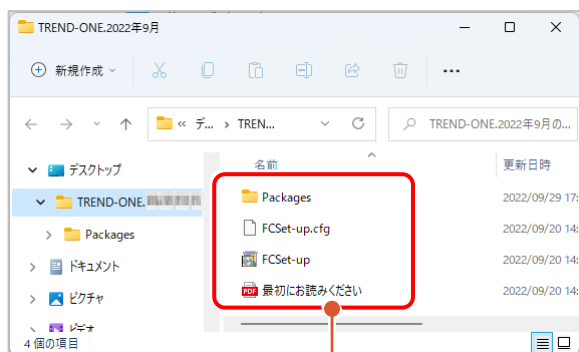
[閉じる] を押して画面を閉じます。



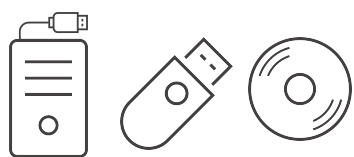
(次ページへ続く)

5. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルを、外付けハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。

（サーバーでダウンロードした場合は、そのまま実行できますのでDVDやUSBメモリに書き込む必要はありません。）



外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。



以上で、全体ファイルの保存は完了です。

続いて次ページへ進み、プログラムをインストールします。

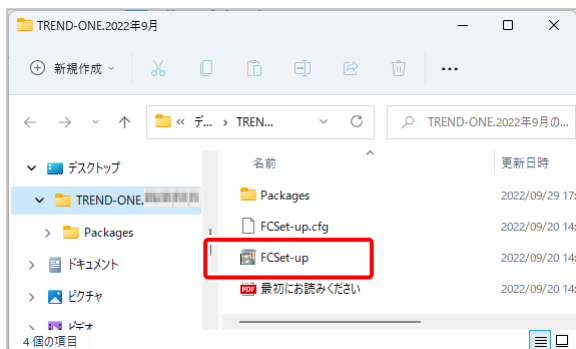
▼
（次ページへ続く）

まず、サーバマシンにプログラムをインストールをします

1. 全体ファイルをコピーしたメディア（外付けハードディスクなどを）、サーバーにセットします。



2. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルにある“FCSet-up.exe”を実行します。



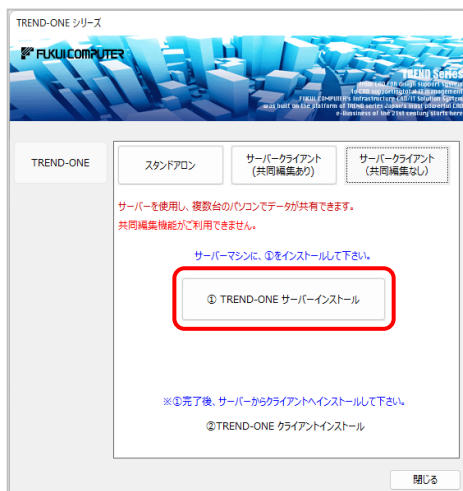
3. セットアップ画面が表示されます。



[サーバークライアント（共同編集なし）] タブを選択します。



[① TREND-ONE サーバークライアントインストール] ボタンを押します。



(次ページへ続く)

4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



「ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します」を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



内容を確認して、「セットアップ開始」を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続く)

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

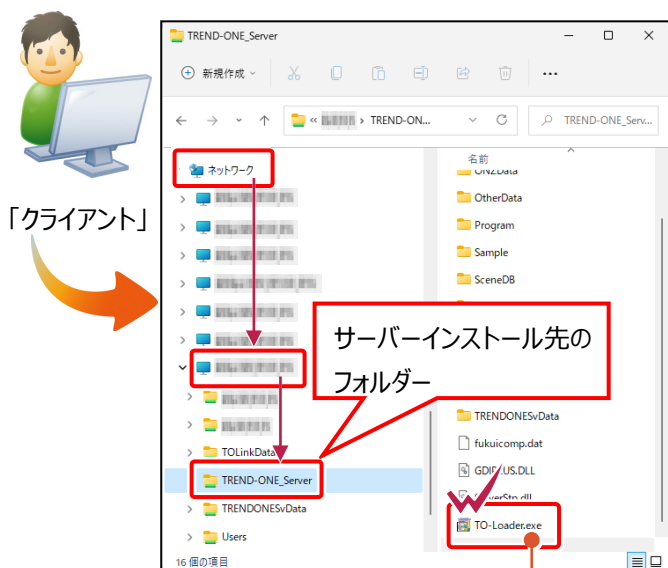


(次ページへ続く)

次に、サーバーマシンにクライアントインストールをします

※これらの操作は、サーバーマシンでも ONE プログラム（現場管理など）を使用する場合のみおこなってください。

1. クライアントからエクスプローラーを開き、「ネットワーク」からサーバーを参照して、「サーバーインストール先のフォルダー」にある、「TO-Loader.exe」を実行します。



Mercury-ONEの場合は、「MO-Loader.exe」を実行してください。

2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

左上に（共同編集なしクライアント新規インストール）と表示されていることを確認してください。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します] を選択します。



（次ページへ続く）

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。

必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ] を押します。



時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

プロテクトを確認してください

プロテクトが「ネット認証ライセンス（占有）」になっていることを確認してください。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する] ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

※ご利用のプロテクトによって、選択する「プロテクトの種類」は異なります。

ご利用のプロテクトが分からない場合は、弊社 WEB サイト「お客様サポート」の「[プロテクトタイプの確認方法](#)」をご確認ください。

内容を確認して、[セットアップ開始] を押します。プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、TREND-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] ボタンから表示される資料を参考にしてください。

(次ページへ続く)



確認を終えたら、[閉じる] を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



以上で、「ONEのインストール」は完了です。

5 ライセンスの取得

新サーバーマシンにインストールしたFCアカウントを利用して、サーバーマシンおよびクライアントマシンで「ライセンス取得」をおこないます。

5-1 ネット認証ライセンス（LAN）のライセンス取得手順

新サーバーマシンに「ネット認証LANサーバー（ライセンス管理プログラム）」をセットアップします。

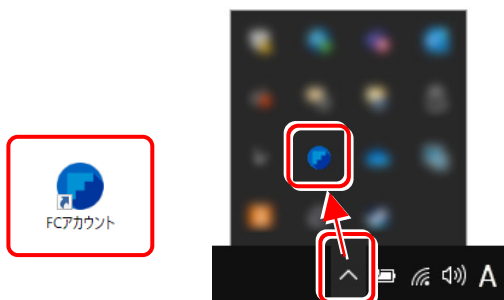
Step1 | ネット認証LANサーバーのインストール

※この操作は新サーバーマシンで必要な操作です。クライアントマシンでは不要な操作です。

クライアントマシンでのライセンス取得方法は「Step3 ネット認証LANライセンスの取得」に進んでください。

※サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

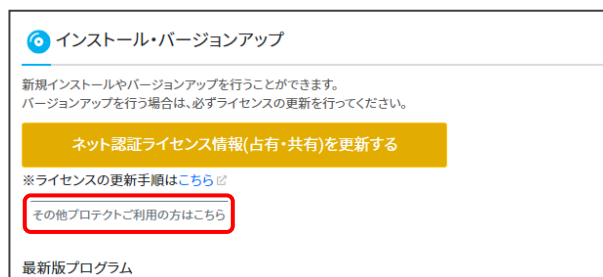
1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



2. 「インストール・バージョンアップ」をクリックします。



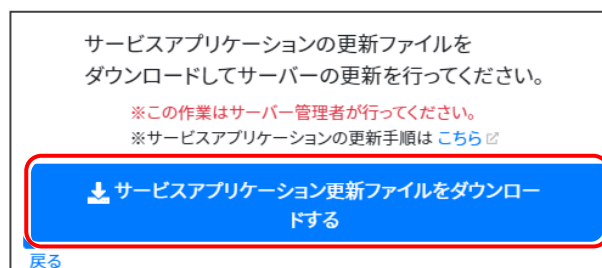
3. 「[その他プロテクトをご利用の方はこちら]」をクリックします。



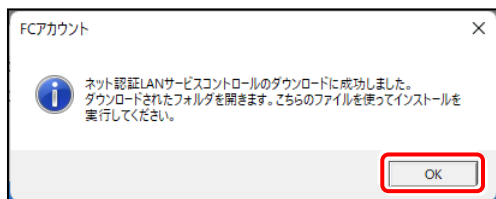
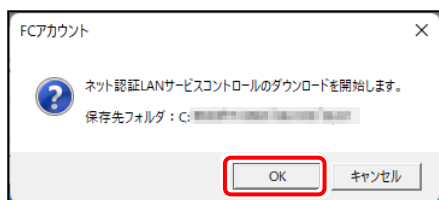
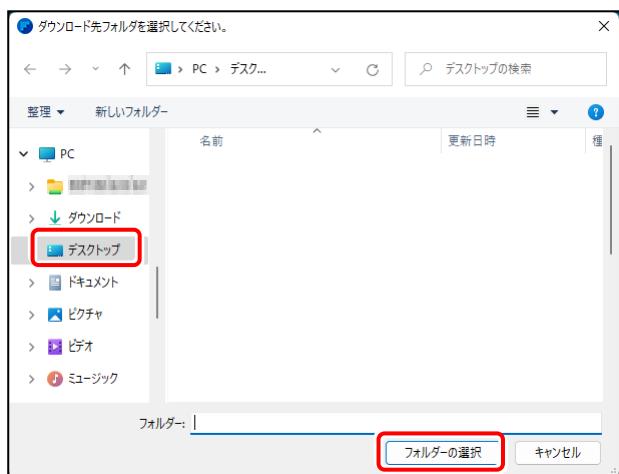
4. 「LAN型 ネット認証プロテクトをご利用のお客様」をクリックします。



5. 「サービスアプリケーション更新ファイルをダウンロードする」をクリックします。

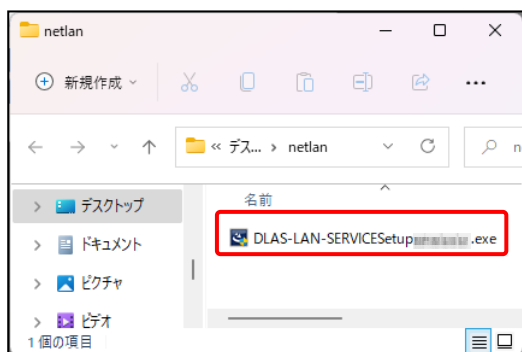


6. ダウンロードするファイルの保存先を指定して、[OK] をクリックします。

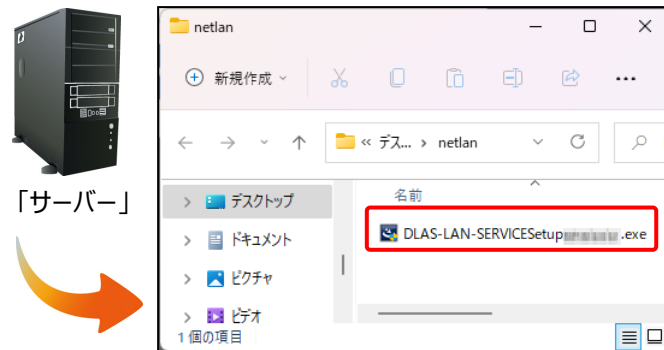


7. ダウンロード先に “netlan” フォルダが作成されます。フォルダ内の更新用ファイルを、エクスプローラーなどを利用して、DVDやUSBメモリに書き込んでサーバーへ移動してください。

（サーバーでダウンロードした場合は、そのまま実行できますのでDVDやUSBメモリに書き込む必要はありません。）

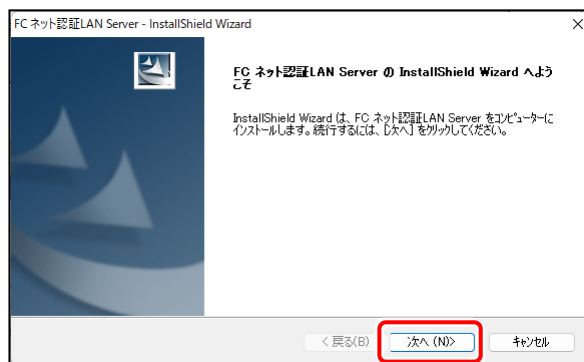


8. ネット認証ライセンス（LAN）のサーバーで、更新用ファイル "DLAS-LAN-SERVICESetup~.exe" を、実行します。

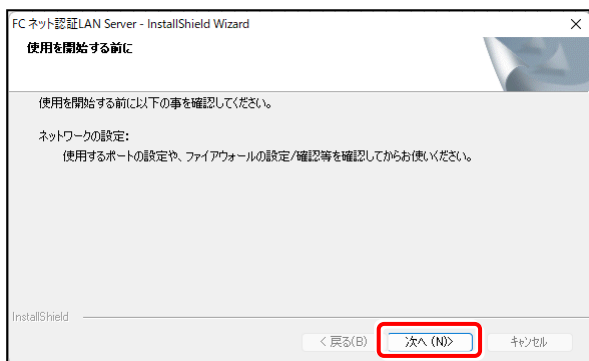
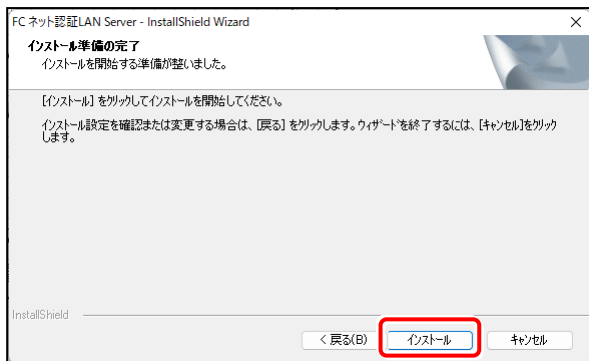


9. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。

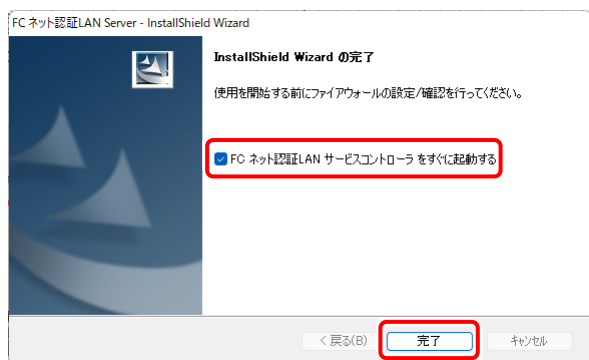
表示される画面は、異なる場合があります。



（次ページへ続く）



10. [FCネット認証LAN サービスコントローラをすぐに起動する] をONにして、[完了] をクリックします。



(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | プロダクトIDの認証（サーバー）

インターネットを通して、プロダクトIDの認証を行います。
この処理により プロダクトIDに関連付けられたライセンスを使用できるようになります。

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール] 画面から [ライセンス認証] をクリックします。



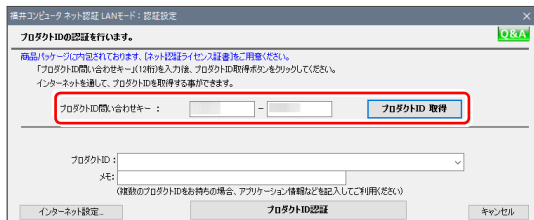
※ 上記画面が表示されていない場合は、

Windows11 : スタートメニューの「すべてのアプリ」

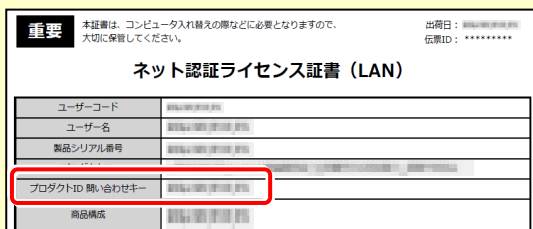
Windows10 : スタートメニュー

から、[FC ネット認証LAN Server] - [FC ネット認証LAN サービスコントローラ] を起動してください。

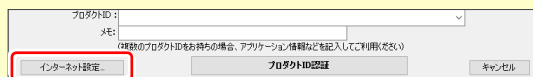
2. [認証設定] 画面が表示されますので、[プロダクトID問い合わせキー] を入力して、[プロダクトID取得] をクリックします。



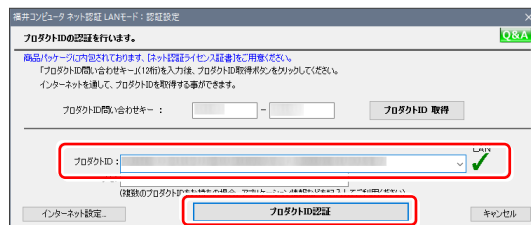
※ 「プロダクトID問い合わせキー」は6桁+6桁 で、送付される「ネット認証ライセンス証書（LAN）」に記載されています。



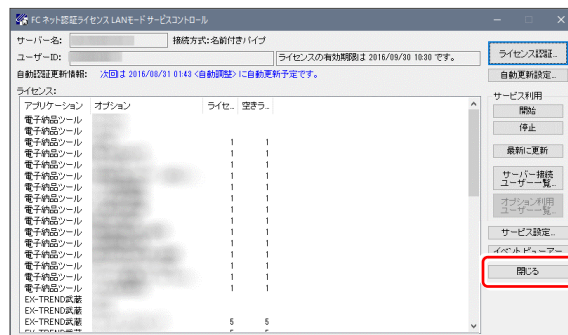
※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定] を押して、プロキシ設定を変更してみてください。



3. [プロダクトID] が取得されたのを確認し、[プロダクトID認証] をクリックします。



4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、[閉じる] をクリックします。



(次ページ「Step3」へ進みます)

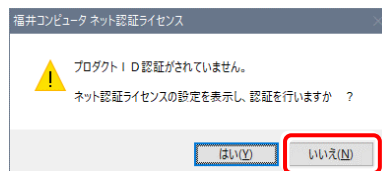
Step3 | ネット認証ライセンスの取得

新サーバーマシン、およびクライアントマシンでインストール済みのプログラムを起動して、ネット認証ライセンスのモード（占有、LAN、占有モード+LANモード、共有モード）を指定します。

1. デスクトップの [TREND-ONE] [Mercury-ONE] をダブルクリックして起動します。



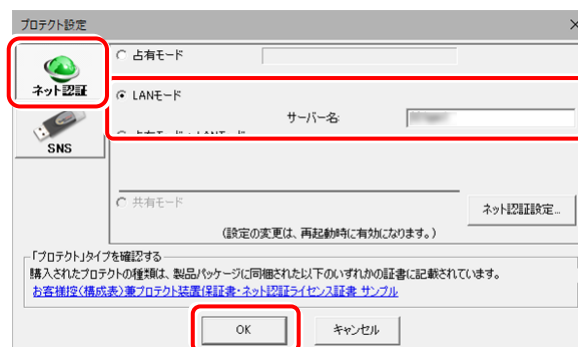
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[いいえ] を選択します。



次に表示されるメッセージは [OK] をクリックします。



3. [プロテクト設定] 画面が表示されるため [ネット認証] の [LANモード] を選択して [サーバー名] に「FCネット認証LAN Server」をインストールした新サーバーマシン名を入力します。
入力を終わったら [OK] をクリックします。



4. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の [×] ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で、「ネット認証ライセンス（LAN）のライセンス認証」は完了です。



5-2 USBプロテクト（SNS-LAN-X）のライセンス取得手順

新サーバーマシンに「SNS-LAN-Xサーバー（ライセンス管理プログラム）」をセットアップします。

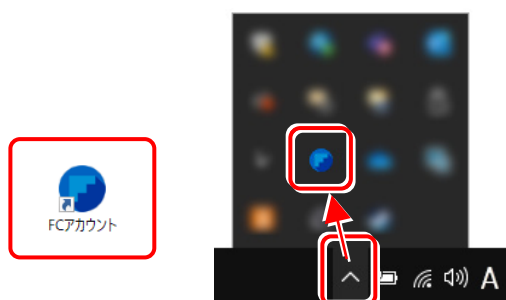
Step1 | プロテクトドライバのインストール

※この操作は新サーバーマシンで必要な操作です。クライアントマシンでは不要な操作です。

クライアントマシンでのライセンス取得方法は「Step3 プロテクトの認証」に進んでください。

※サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

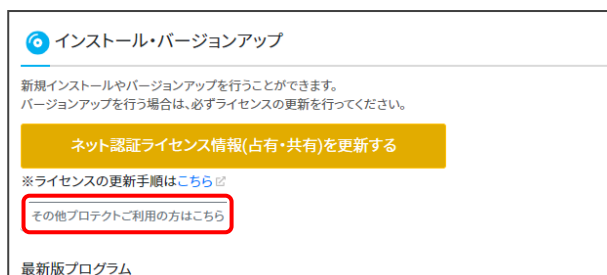
1. デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を開きます。



2. 「インストール・バージョンアップ」をクリックします。



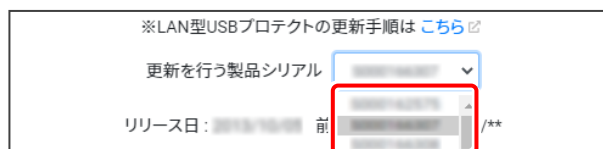
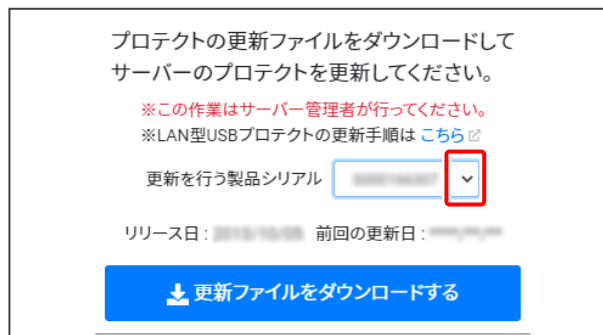
3. 「[その他プロテクトをご利用の方はこちら]」をクリックします。



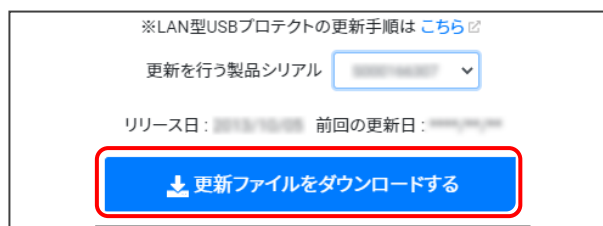
4. 「LAN型 USBタイプのプロテクトをご利用のお客様」をクリックします。



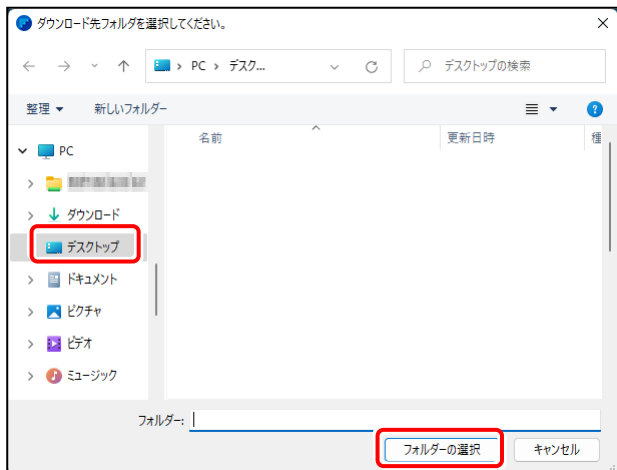
5. ライセンスの認証をおこなうUSBプロテクトの「製品シリアルNo.」を、リストから選択します。



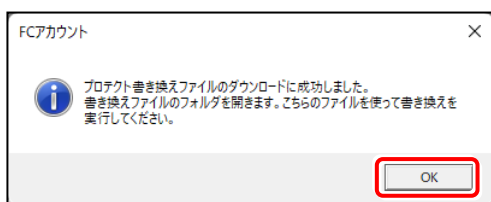
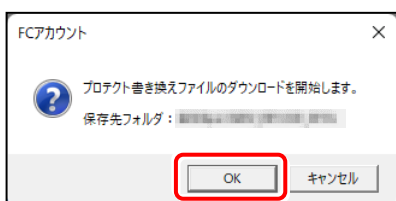
6. 「更新ファイルをダウンロードする」をクリックします。



7. 更新ファイルの保存先（デスクトップなど）を指定して、
[フォルダーの選択] をクリックします。



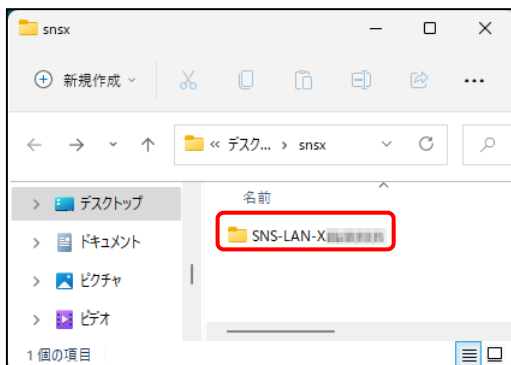
8. [OK] をクリックすると、ダウンロードが開始されます。



9. ダウンロードが完了すると、エクスプローラーが開かれ、ダウンロード先に "snsx" フォルダが作成されます。

フォルダ内の「更新ファイル」を、エクスプローラーなどを利用して、DVDやUSBメモリに書き込んでサーバーへ移動してください。

（サーバーでダウンロードした場合は、そのまま実行できますのでDVDやUSBメモリに書き込む必要はありません。）



10. 弊社商品のプロテクトに限らず、サーバーにUSBプロテクトが装着されている場合は、**全て外します**。

※ **重要！！**

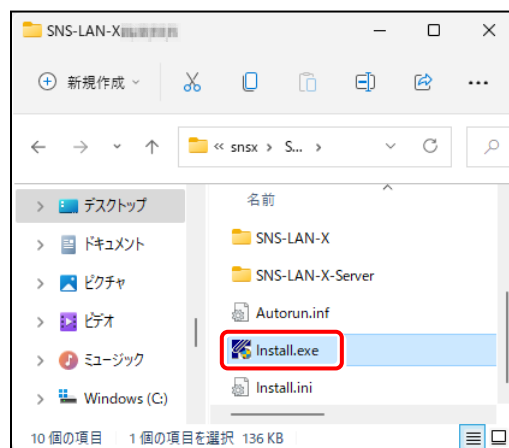
USBプロテクトは、
まだサーバーに
装着しないでください。



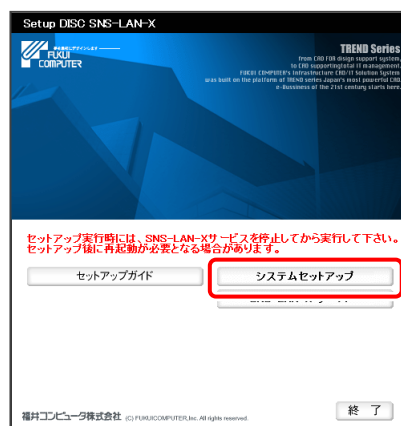
11. ダウンロードした「更新用ファイル」内の
" SNS-LAN- X ***** "フォルダ内にある
" Install.exe "を、サーバー上で実行します。



「サーバー」



12. Setup画面より、[システムセットアップ] をクリックします。



(次ページへ続く)

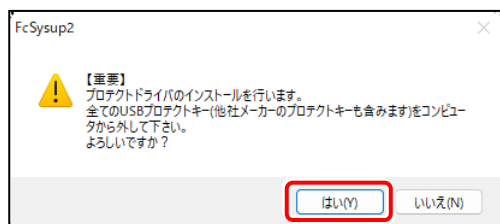
13. USBプロテクトの画像ボタンをクリックします。



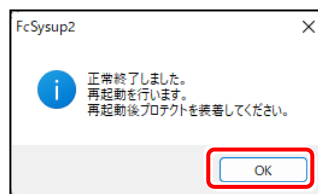
14. 「SNS-LAN-X」をクリックします。



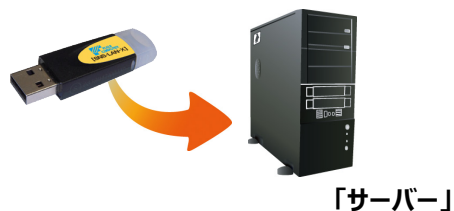
15. サーバーにUSBプロテクトが装着されていないことを確認したら、[はい] をクリックします。



16. インストールが終了したら再起動を促すメッセージが表示されます。[OK] をクリックしてサーバーを再起動します。



17. サーバーにUSBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着します。自動的にデバイスドライバソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

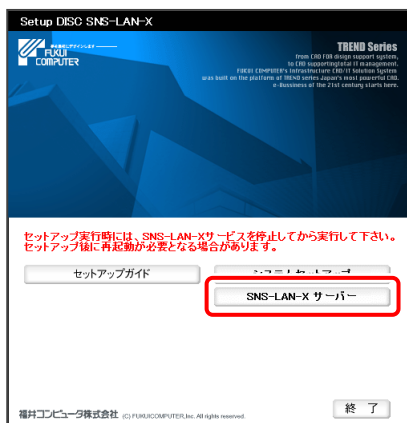


(次ページ「Step2」へ進みます)

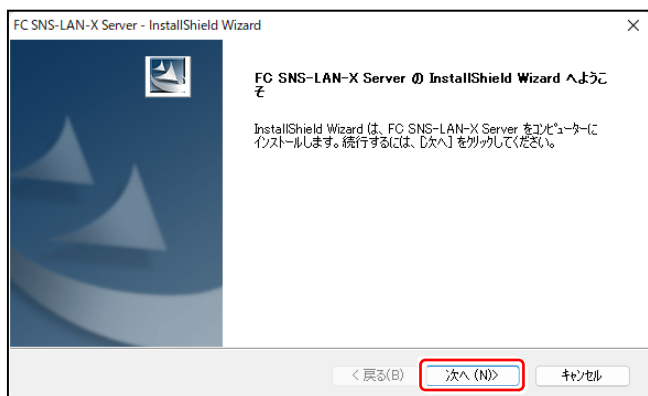
Step2 | SNS-LAN-Xサーバーのインストール

サーバーにライセンス管理ツール（SNS-LAN-X サーバー）をインストールします。

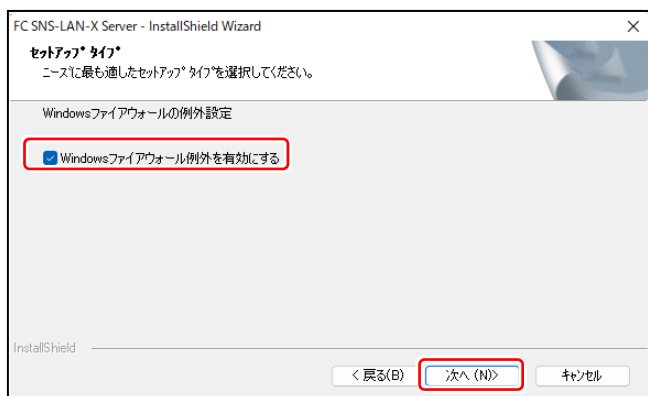
1. Setup画面より [SNS-LAN-X サーバー] をクリックします。



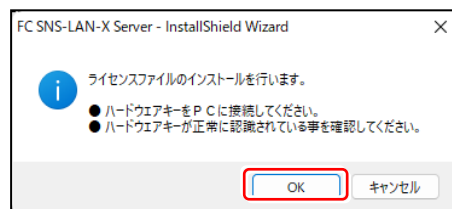
2. [次へ] をクリックします。



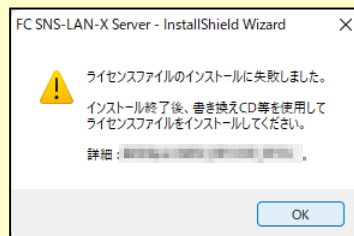
3. [Windowsファイアウォール例外を有効にする] をONにして、[次へ] をクリックします。



4. 表示される画面に従って、インストールを開始します。



※ 下記画面が表示された場合は、プロテクトが正常に認識されているか確認してください。



(次ページへ続く)

5. [完了] をクリックします。



(次ページ「Step3」へ進みます)

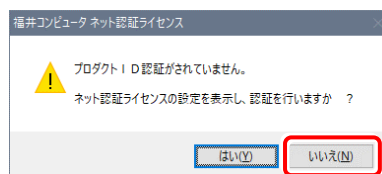
Step3 | プロテクトの認証

新サーバーマシン、およびクライアントマシンでインストール済みのプログラムを起動して、USB プロテクトのモード（USB ローカル、LAN、USB ローカル+LAN）を指定します。

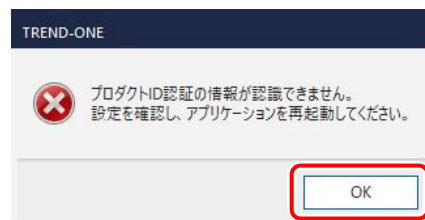
1. デスクトップの [TREND-ONE] [Mercury-ONE] をダブルクリックして起動します。



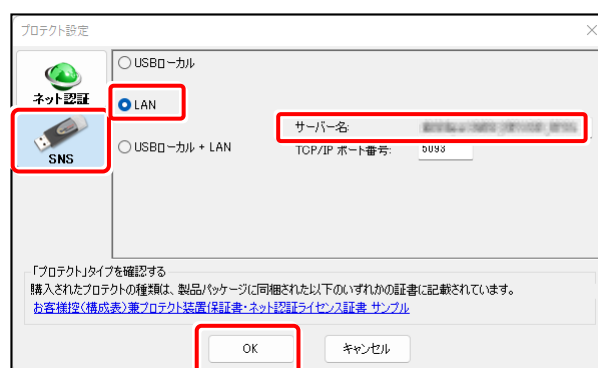
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[いいえ] を選択します。



次に表示されるメッセージは [OK] をクリックします。



3. [プロテクト設定] 画面が表示されるため [SNS] の [LAN] を選択して [サーバー名] に新サーバーマシン名を入力します。
入力を終わったら [OK] をクリックします。



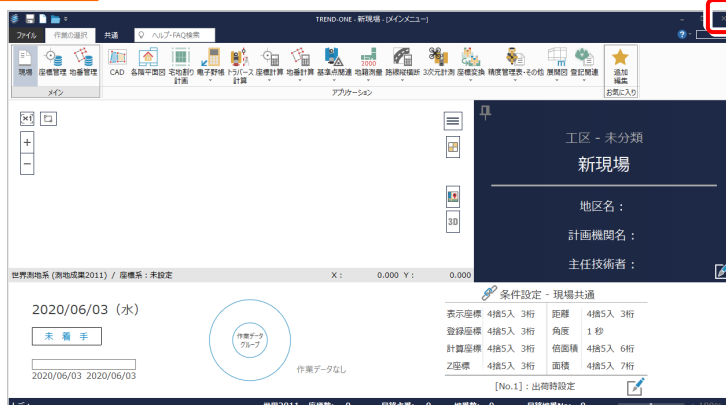
※サーバーパソコン名が不明な場合は、既に USB プロテクト (SNS-LAN) で起動できている他のクライアントパソコンの「プロテクト設定」でサーバー名を確認するか、サーバー管理者にご確認ください。

※「プロテクト設定」の確認方法は、弊社 WEB サイト「お客様サポート」の「各プロテクトの認証方法」の「[\[USB プロテクト \(SNS-LAN-X タイプ\)\]](#)」の「補足」を参照してください。

4. プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の [×] ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で、「USBプロテクト (SNS-LAN-X) の認証」は完了です。



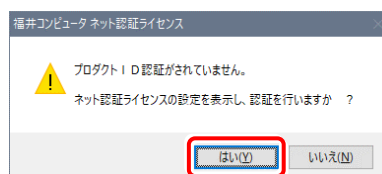
5-3 ネット認証ライセンス（占有）のライセンス取得手順

新サーバーマシン、およびクライアントマシンでインストール済みのプログラムを起動して、ネット認証ライセンスのモード（占有、LAN、占有モード+LANモード、共有モード）を指定します。

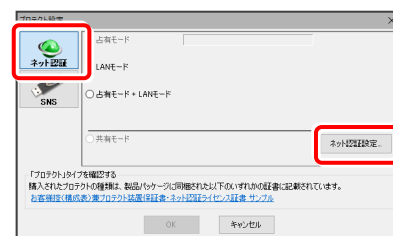
1. デスクトップの [TREND-ONE] [Mercury-ONE] をダブルクリックして起動します。



2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい] をクリックして、ネット認証ライセンスの認証をおこないます。

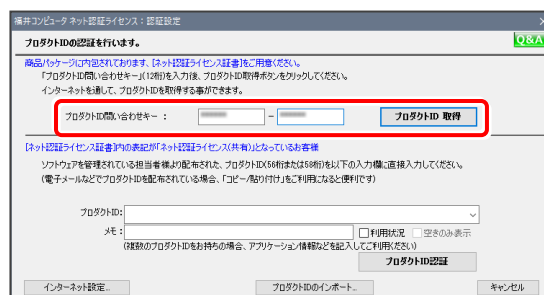


[プロテクト設定] 画面が表示された場合は、[ネット認証] を選択して、[ネット認証設定] をクリックします。



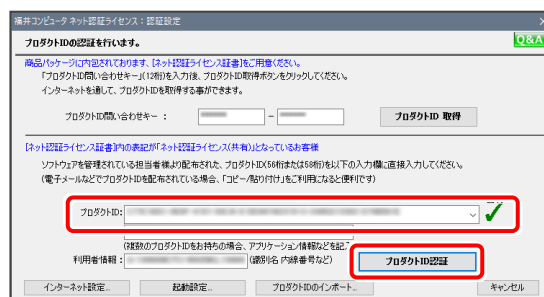
3. [プロテクトID問い合わせキー] を入力して、[プロテクトID取得] をクリックします。

[プロダクトID] が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証] をクリックします。

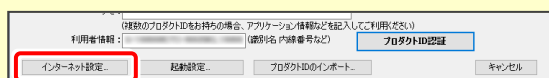


[プロダクトID問い合わせキー] は 6桁+6桁 です。
同梱の「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されています。

重要	本証書は、コンピュータ入れ替えの際などに必要となりますので、大切に保管してください。	出荷日: []
ネット認証ライセンス証書（占有）		依頼ID: []
ユーザーコード	[]	
ユーザー名	[]	
製品シリアル番号	[]	
プロダクトID	[]	
プロダクトID 問い合わせキー	[]	
商品構成	[]	



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定] ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続く)

4. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。

お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- ・ 複数人でライセンスを使用する場合。
- ・ 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- ・ 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

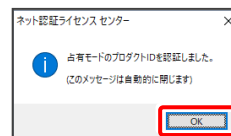
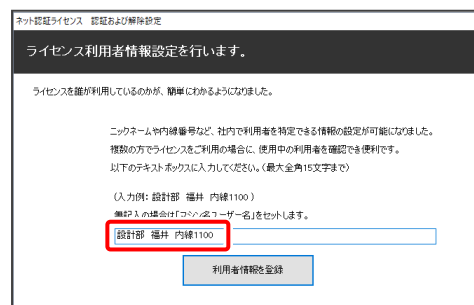
設定を終えたら、[OK] ボタンをクリックします。



利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。

内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



5. ネット認証ライセンス（占有）のプロダクトIDが認証され、プログラムが起動します。

ここでは一旦プログラム右上の「×」ボタンをクリックして、プログラムを終了します。

以上で「ネット認証ライセンス（占有）のライセンス認証」は完了です。



6 データ・設定のリストア（復元）

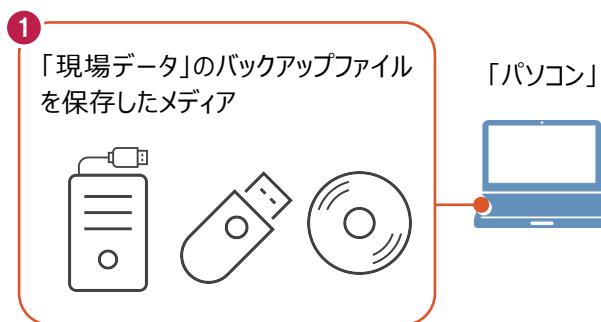
旧サーバマシンでバックアップしたTREND-ONE、Mercury-ONEの「現場データ」と「全設定」を、新サーバマシンのTREND-ONE、Mercury-ONEにリストア（復元）します。

※ここではTREND-ONEで説明します。

※データ・設定のリストア（復元）をクライアントマシンからおこなう場合は、「8 サーバーの参照先変更」を先におこなってください。

6-1 「現場データ」をリストア（復元）する

- 1 いずれか 1 台のパソコンに、「現場データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



- 2 現場管理を起動して、[読込] タブ - [リストア] グループ - [現場] をクリックします。

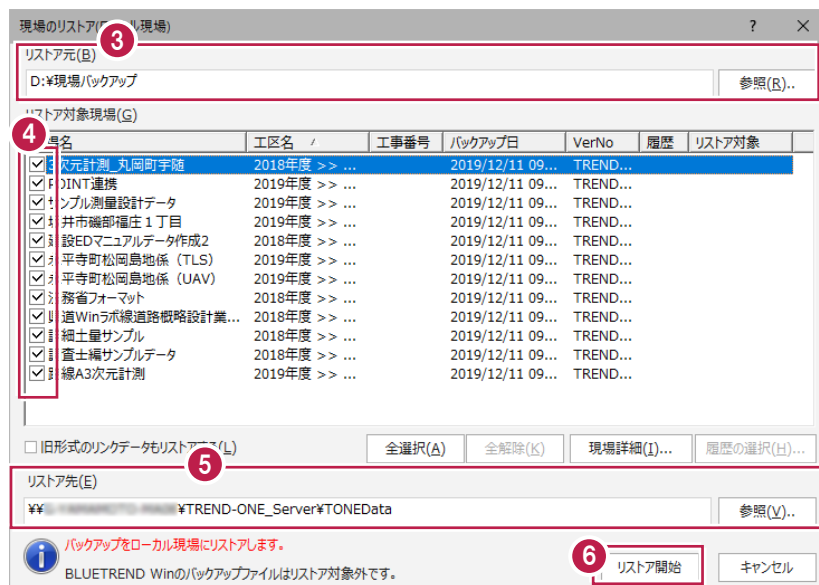


- 3 現場データのバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。

- 4 リストア（復元）する現場のチェックをオンにします。

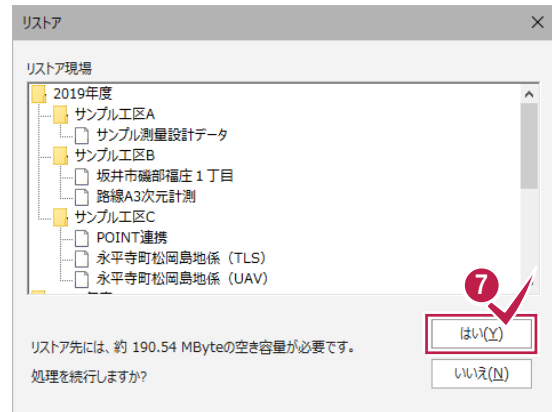
- 5 リストア（復元）先のフォルダーを指定します。

- 6 [リストア開始] をクリックします。



7 [はい] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。



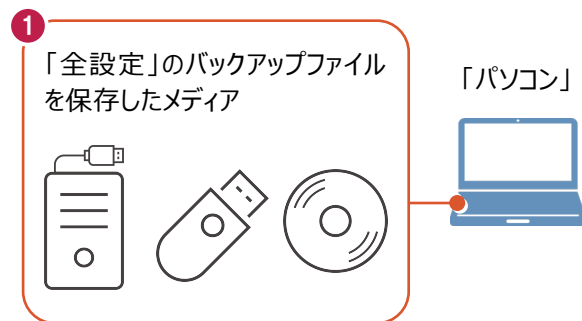
8 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。

以上で「現場データのリストア（復元）」は完了です。



6-2 「全設定」をリストア（復元）する

1 いずれか 1 台のパソコンに、「全設定」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）をセットします。



2 現場管理を起動して、[読込] タブー [リストア] グループー [全設定] をクリックします。



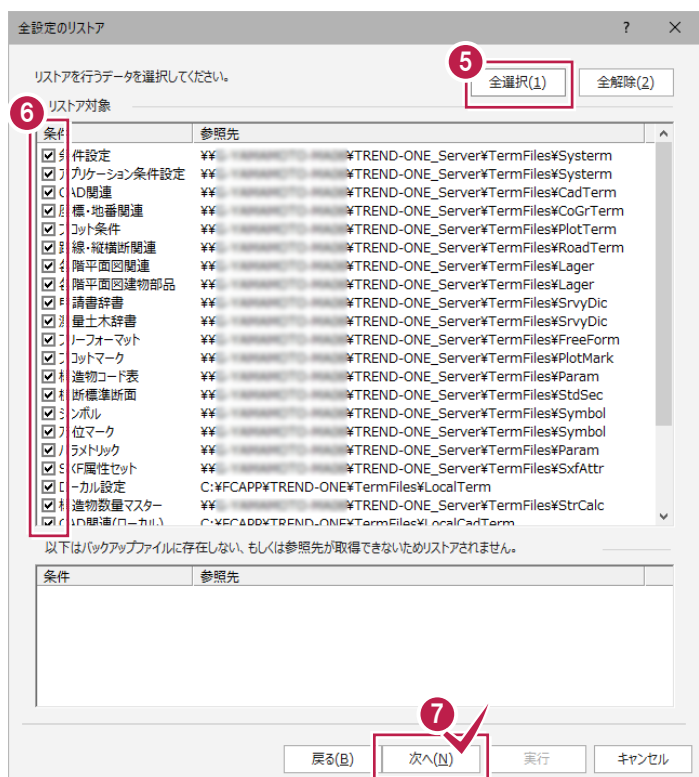
- ③ 全設定のバックアップファイルが保存されているフォルダーを指定します。



- ④ [次へ] をクリックします。

- ⑤ [全選択] をクリックします。

- ⑥ 条件のチェックが、すべて「オン」になっていることを確認します。



- ⑦ [次へ] をクリックします。

8 [実行] をクリックします。

リストア（復元）が開始されます。

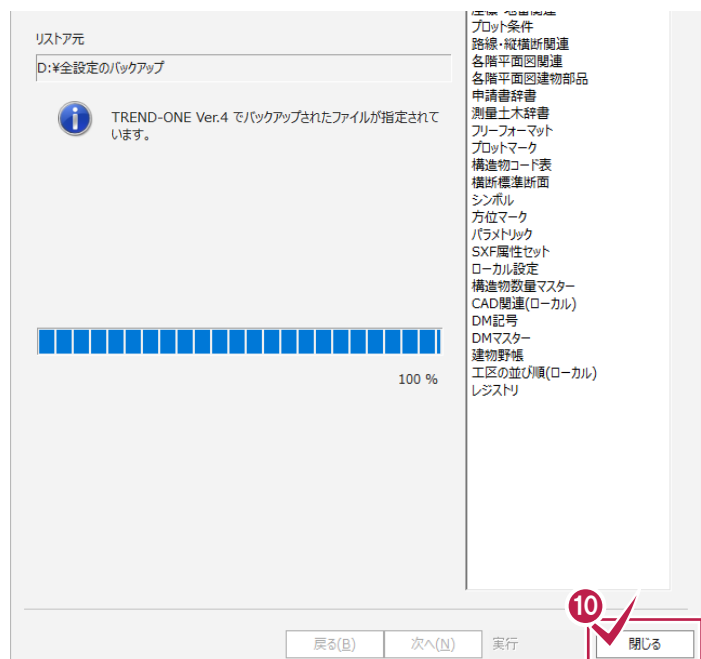


9 リストア（復元）が終了したら、[OK] をクリックします。



10 [閉じる] をクリックします。

以上で「全設定のリストア（復元）」は完了です。



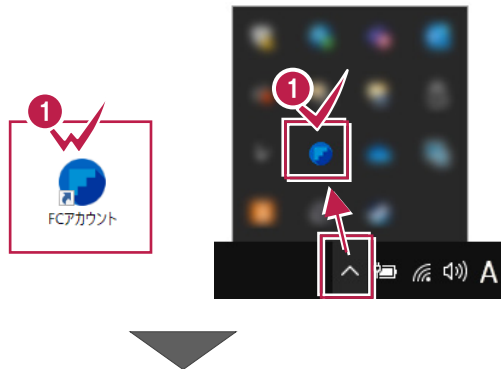
7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

- 1 デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FC アカウント」を起動します。



- 2 画面左側の [保守・サポート] - [操作サポート] をクリックします。

- 3 「測量・土木 CAD 製品 操作サポート」の [操作マニュアル] をクリックします。
お客様サポートの画面が開きます。



- 4 下にスクロールして、「ご利用の製品をお選びください」から「測量 CAD システム TREND-ONE」をクリックします。



- 5 「インストール / 認証・起動」をクリックします。



- 6 「その他お困りごと その他システムに関するお困りごと等」をクリックします。



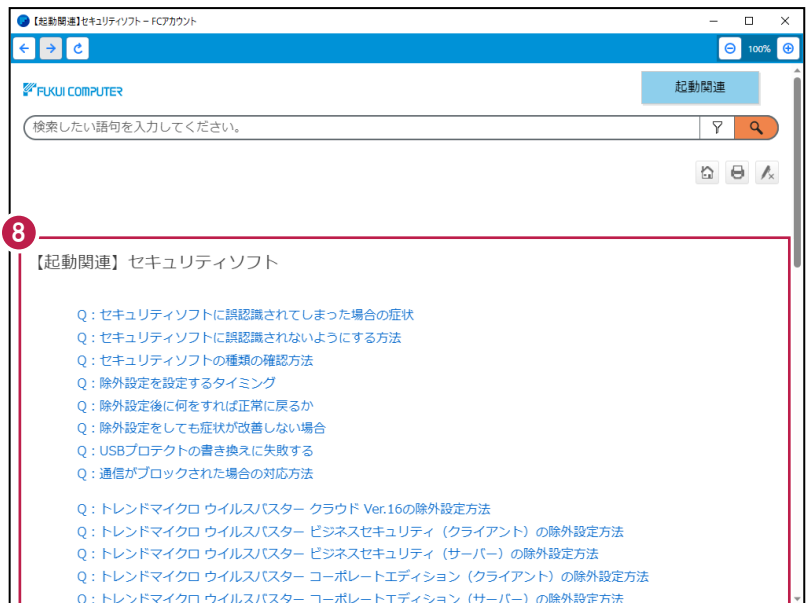
- 7 [セキュリティソフトの除外設定について] 中の [セキュリティソフトの除外設定方法] をクリックします。



- 8 セキュリティソフトの除外設定の手順書が表示されます。

お使いになっているセキュリティソフトに合わせて「Q:」をクリックします。

手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。



8 サーバーの参照先変更

クライアントマシンのサーバーの参照先を変更します。すべてのクライアントマシンで以下の操作をおこなってください。
※ここではTREND-ONEで説明します。

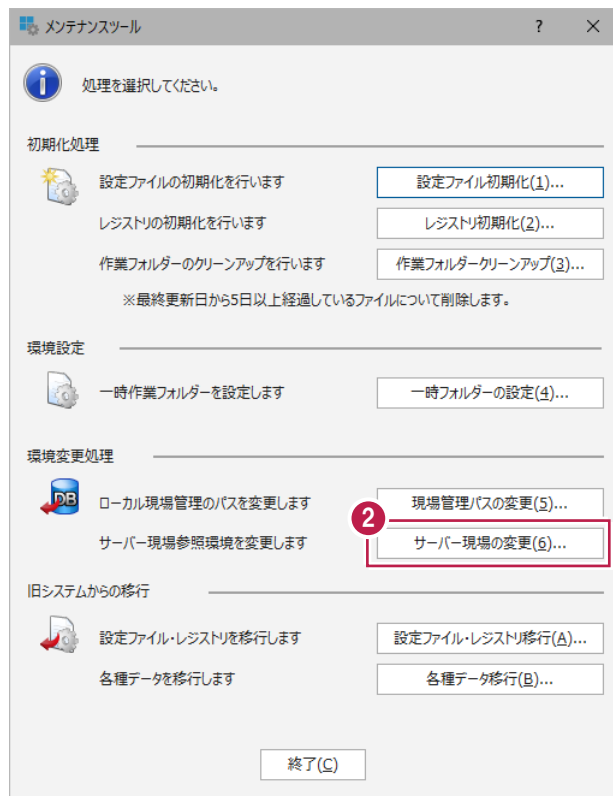
8-1 クライアントマシンのサーバーの参照先を変更する

サーバーの参照先変更は、すべてのクライアントPCでおこないます。

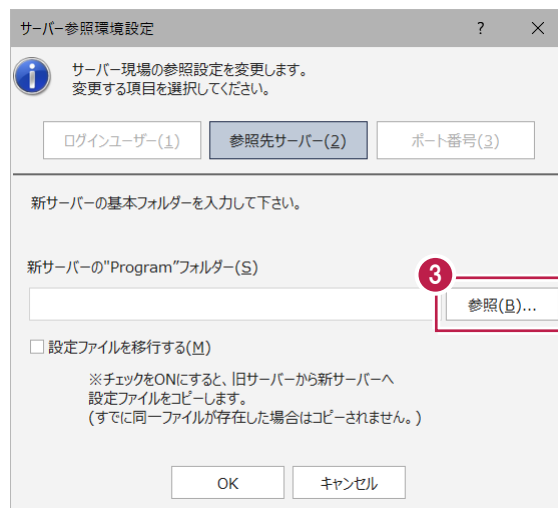
- 1 スタートメニューから、[FukuiComputerApplication] – [TREND-ONE Ver.～メンテナンスツール] を起動します。



- 2 メンテナンスツールの画面が表示されたら、[サーバー現場の変更] をクリックします



- 3 サーバ参照環境設定の画面で「参照」をクリックします。



- 4 「ネットワーク」から新サーバマシンを参照して、「TREND-ONE_Server¥Program」フォルダーを指定します。

- 5 「OK」をクリックします。

以上で、クライアントマシンのサーバ参照先変更は完了です。

